

はじめよう経済学 第1講 市場

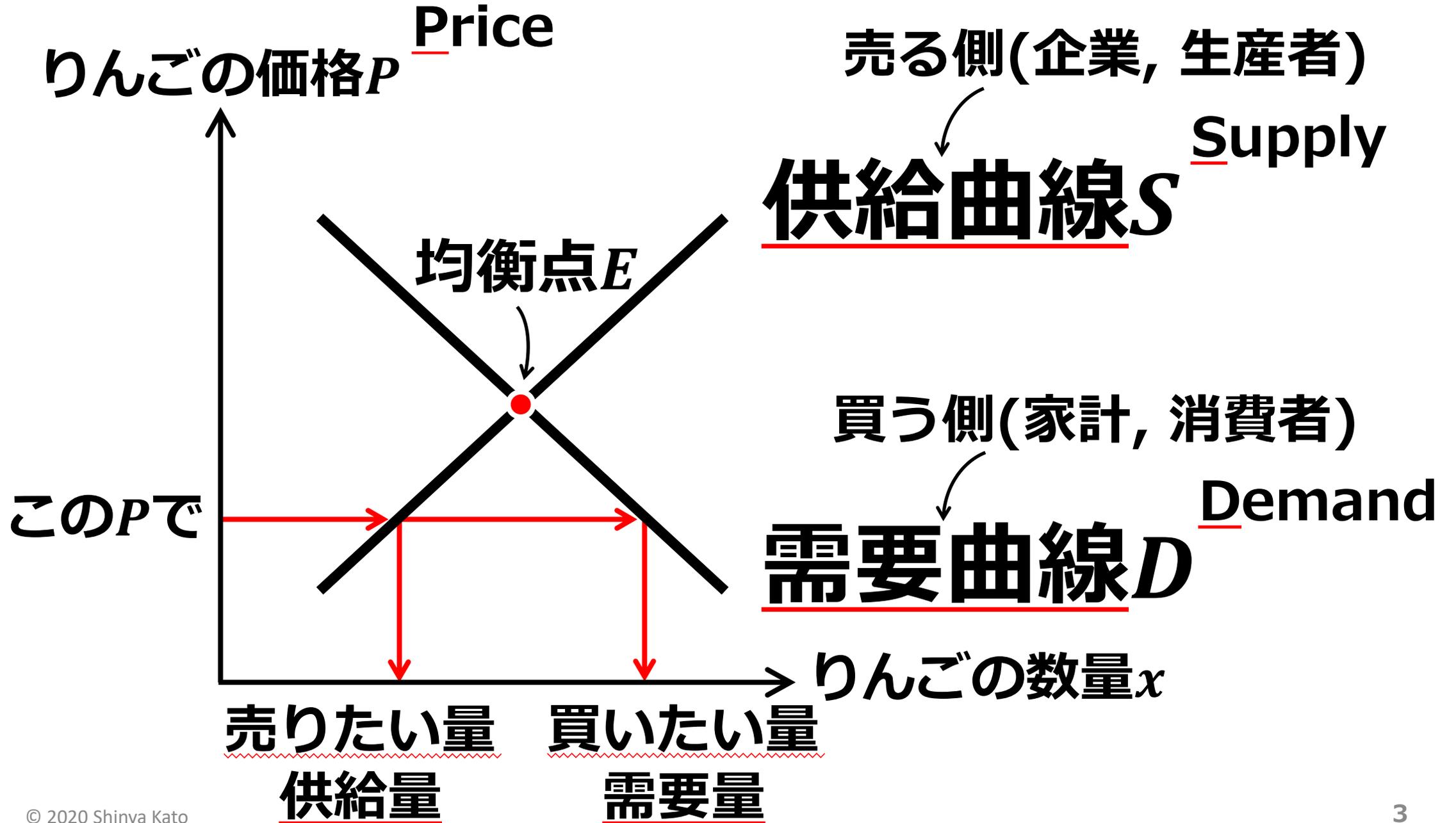
講師：加藤 真也

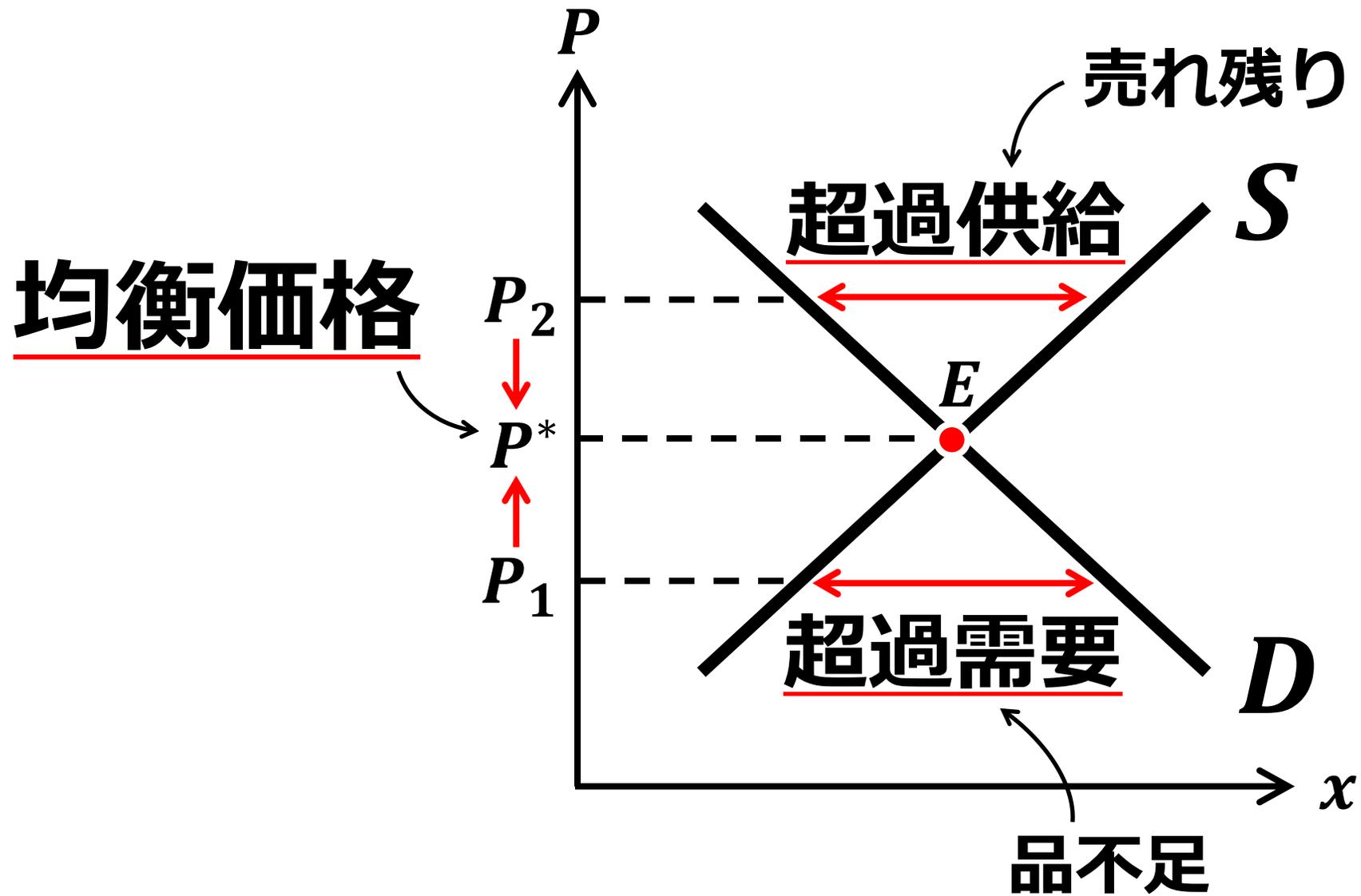
今回(第1講)は…

1. 神の見えざる手
2. 需要曲線と供給曲線のシフト
3. 余剰分析
4. 価格規制と数量規制

市場

財・サービスが取引される場
有形 無形





ポイント

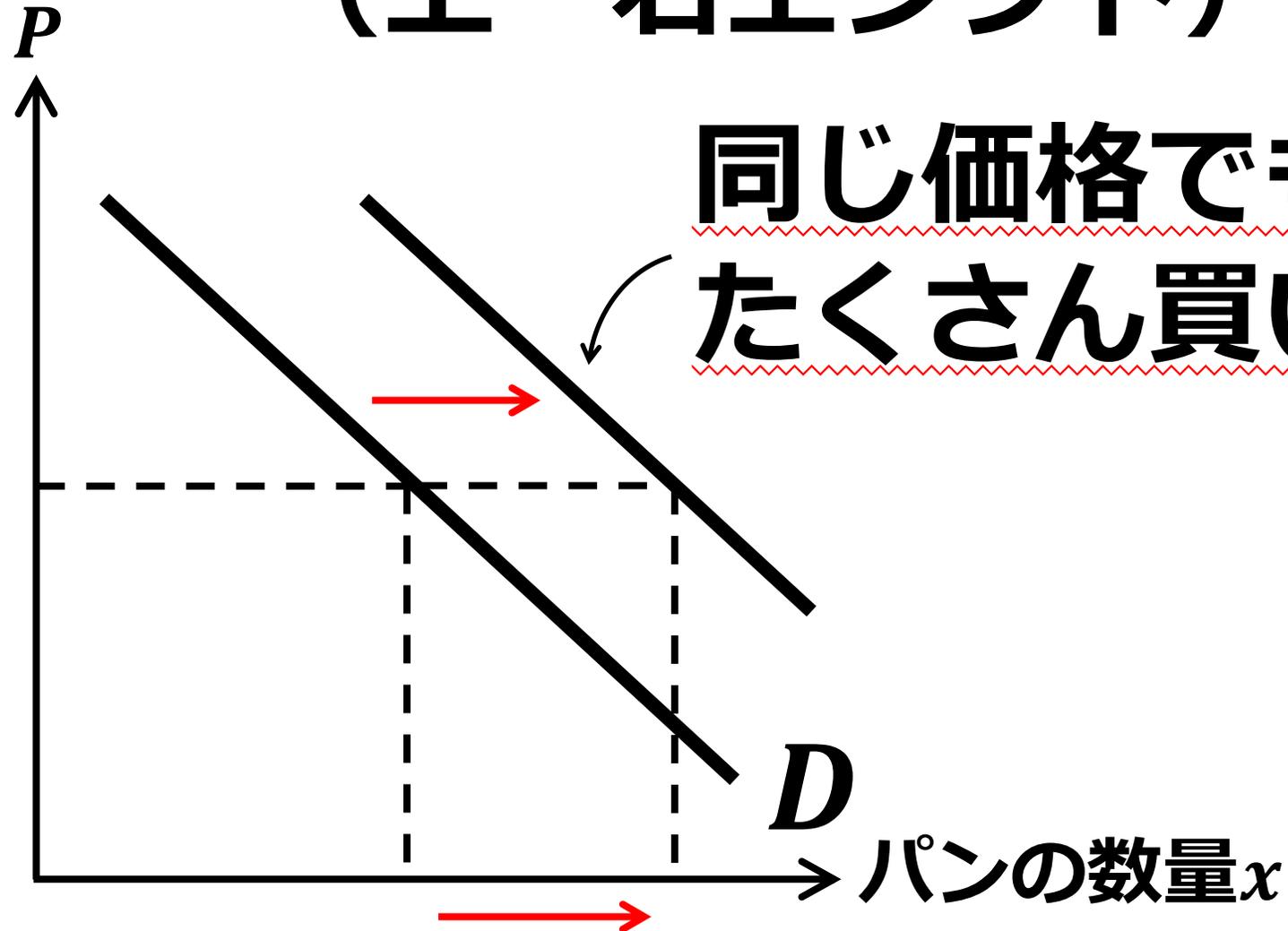
価格メカニズム



神の見えざる手 (市場メカニズム、
価格の自動調節機能) によって、
売れ残りも品不足もない
点*E*が実現する

by アダム・スミス
『国富論』

- **D 曲線の右シフト**
(上・右上シフト)

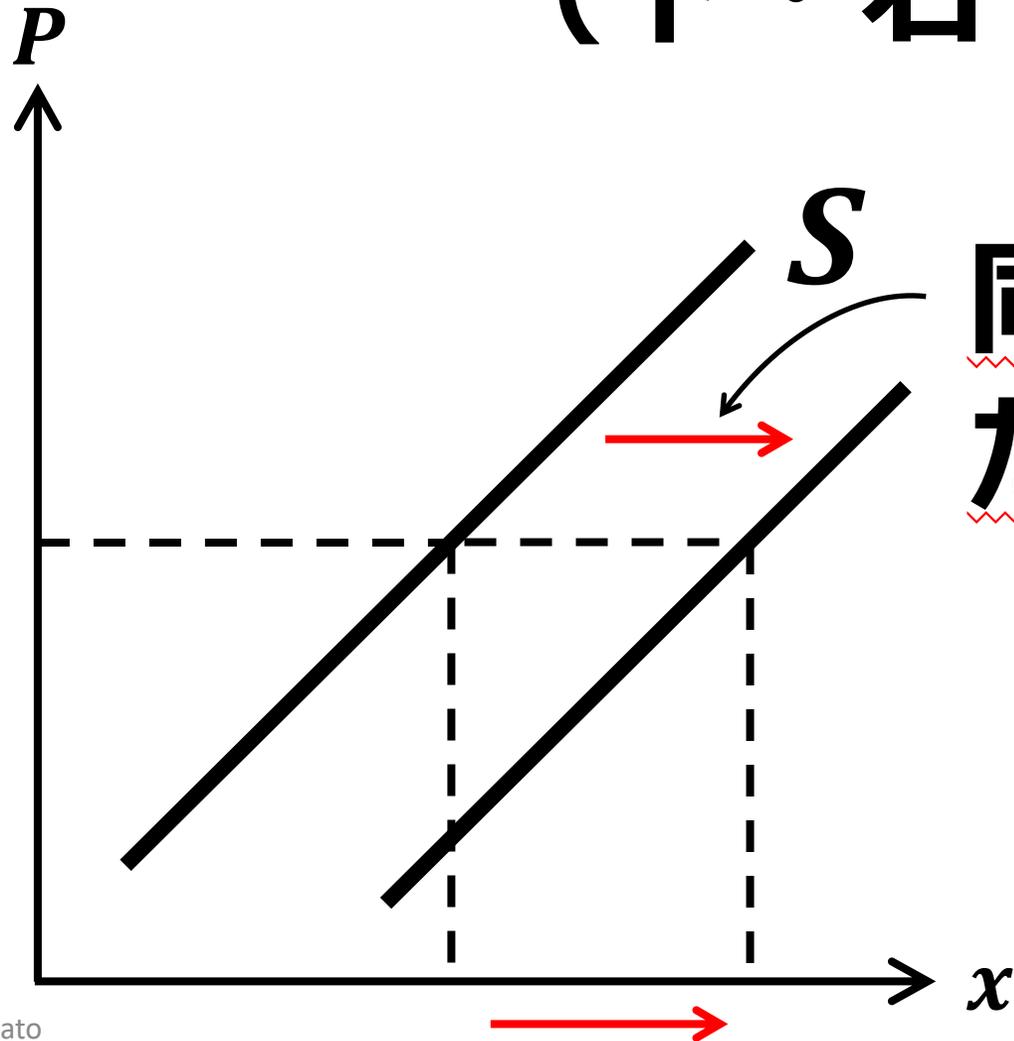


原因

第5講

- ① 所得の増加（上級財のとき）
- ② パンの好み ↑ 選好
例 宣伝・広告
- ③ 代替品 (例 コメ) の P ↑
(→ コメの D ↓ → パンの D ↑)
- ④ 補完品 (例 バター) の P ↓
(→ バターの D ↑ → パンの D ↑)

- **S 曲線の右シフト**
(下・右下シフト)



同じ価格でも
たくさん売りたい

原因

① 生産コストの低下

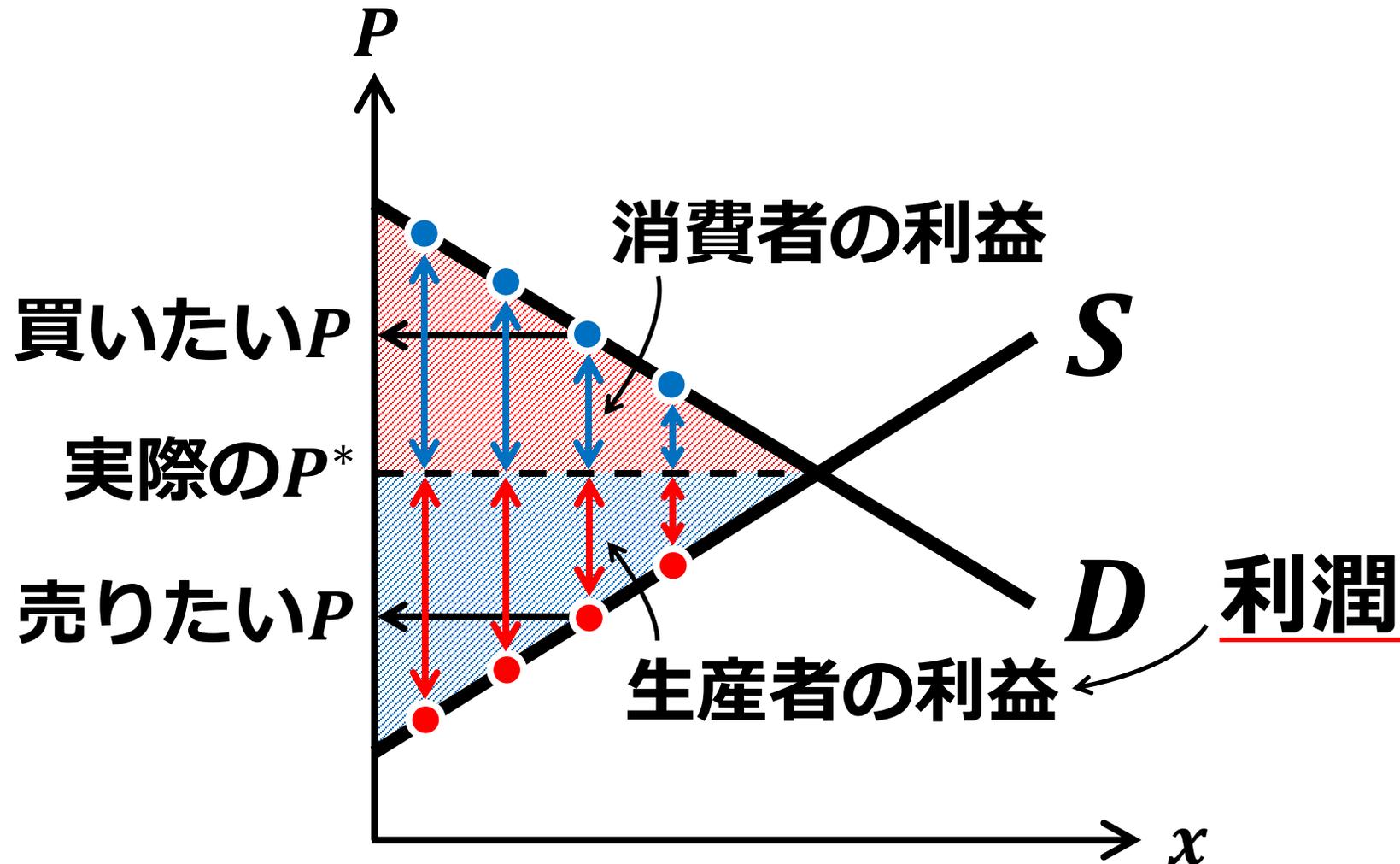
例 人件費↓, 原材料費↓など

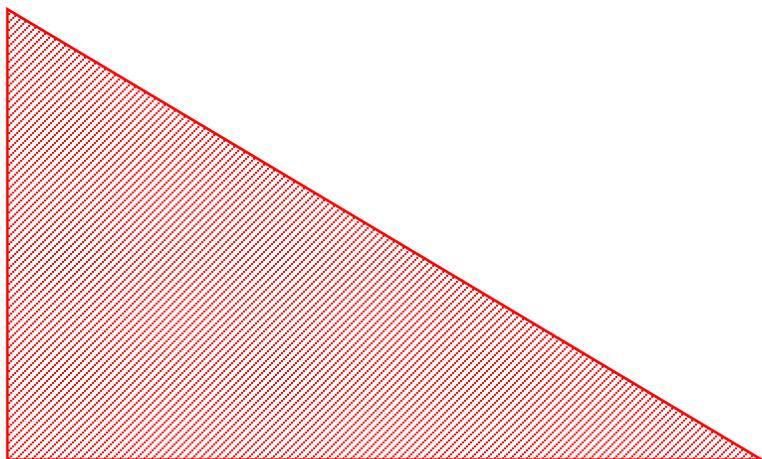
② 技術進歩(生産性の向上)

覚え方

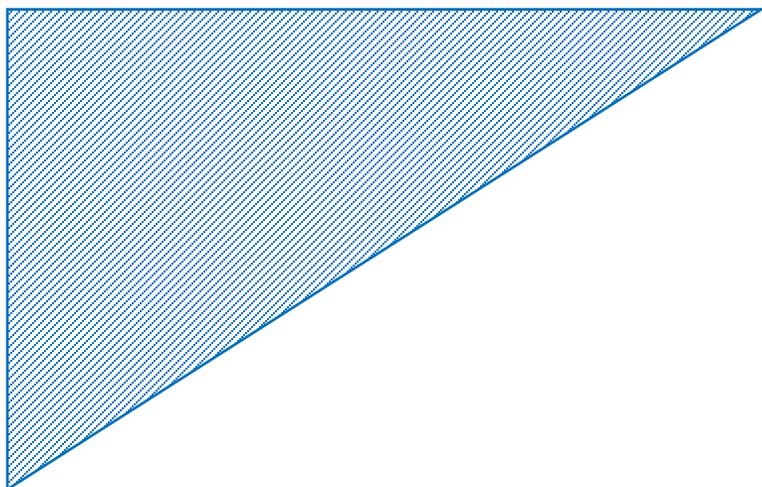
D の右シフトは家計に良いこと、
 S の右シフトは企業に良いこと
が多い

• 余剰分析





: 消費者余剰

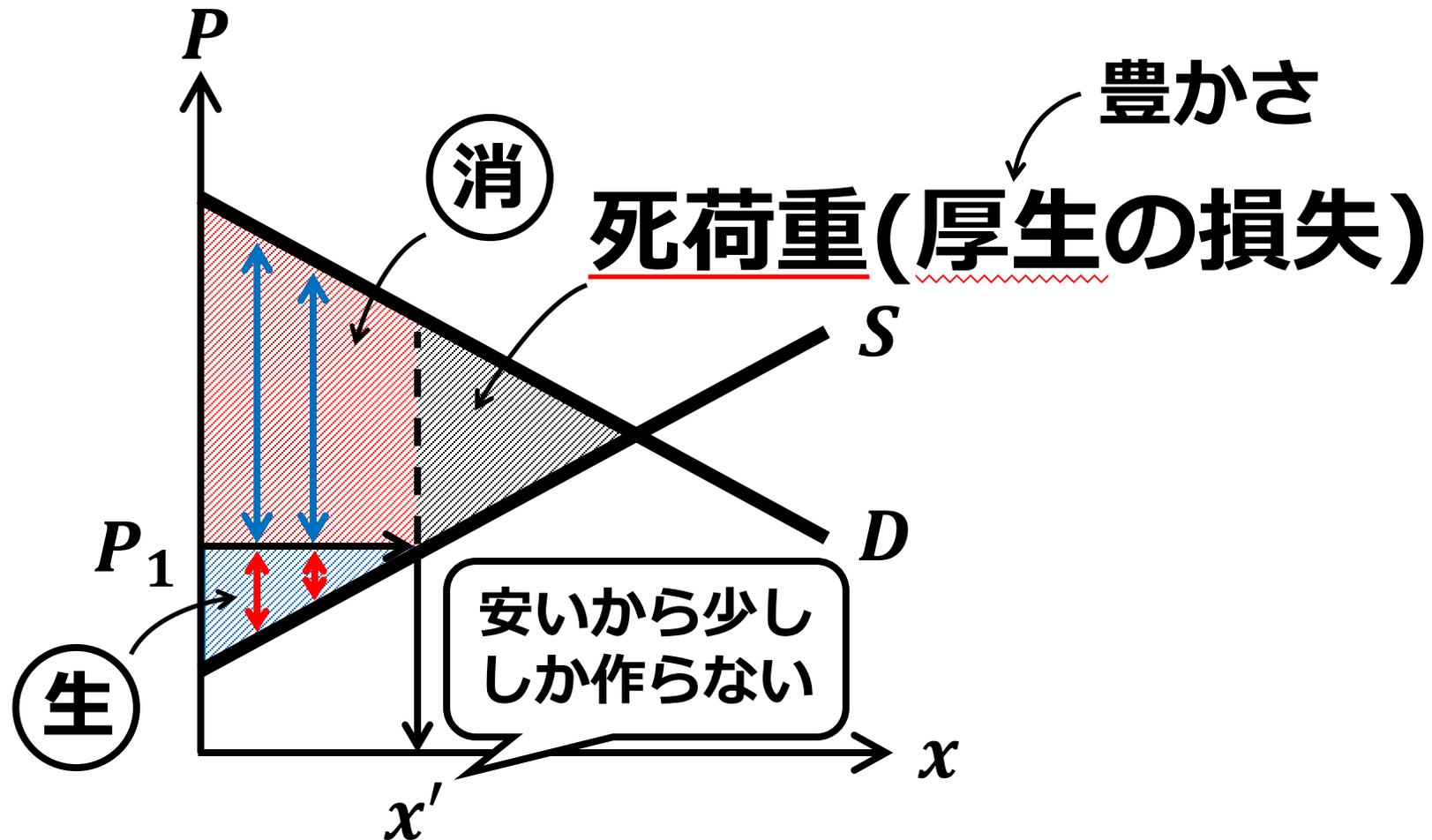


: 生産者余剰

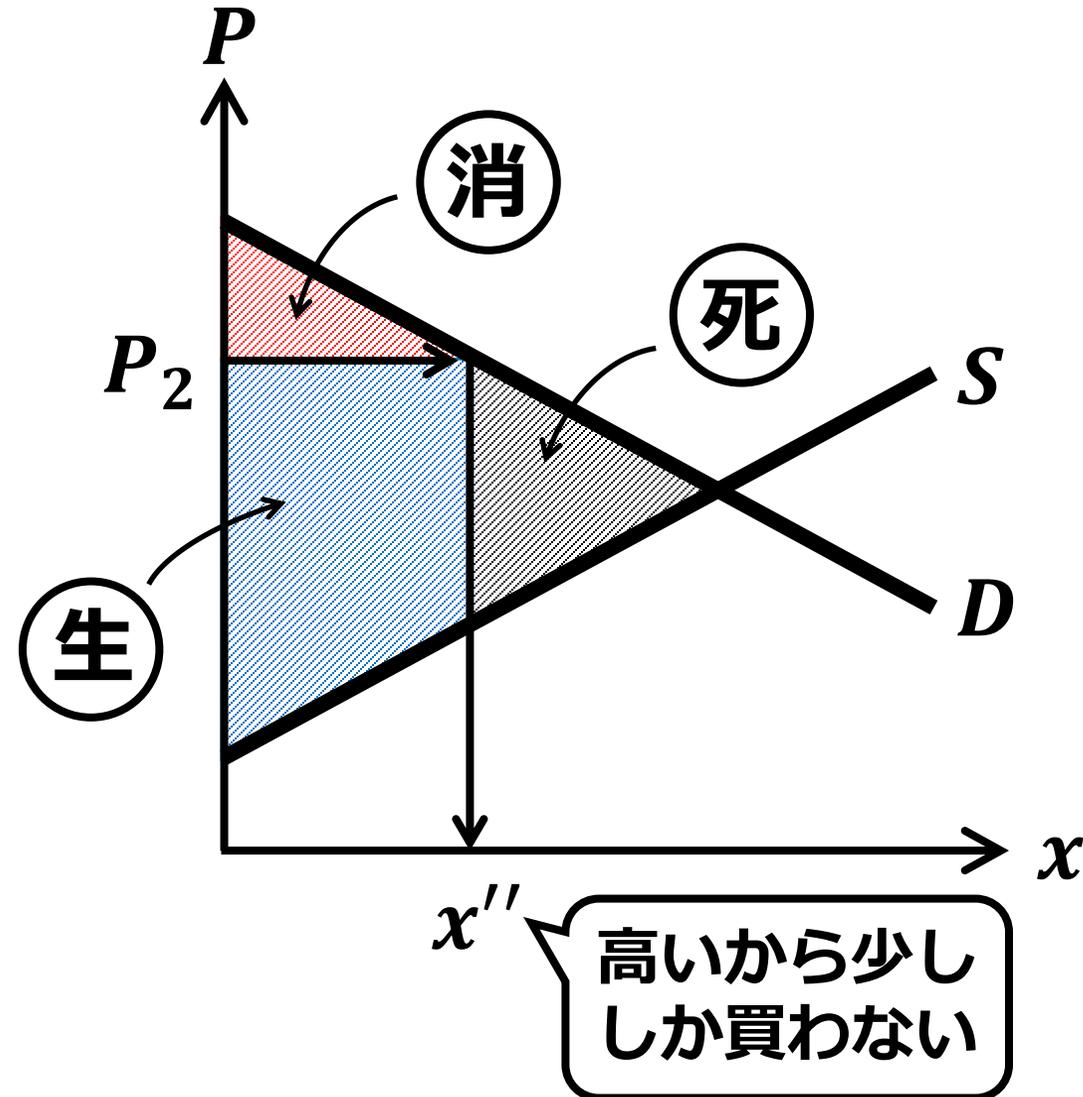
**(社会的)
総余剰**

① 価格規制

(1) 低価格 P_1 に規制

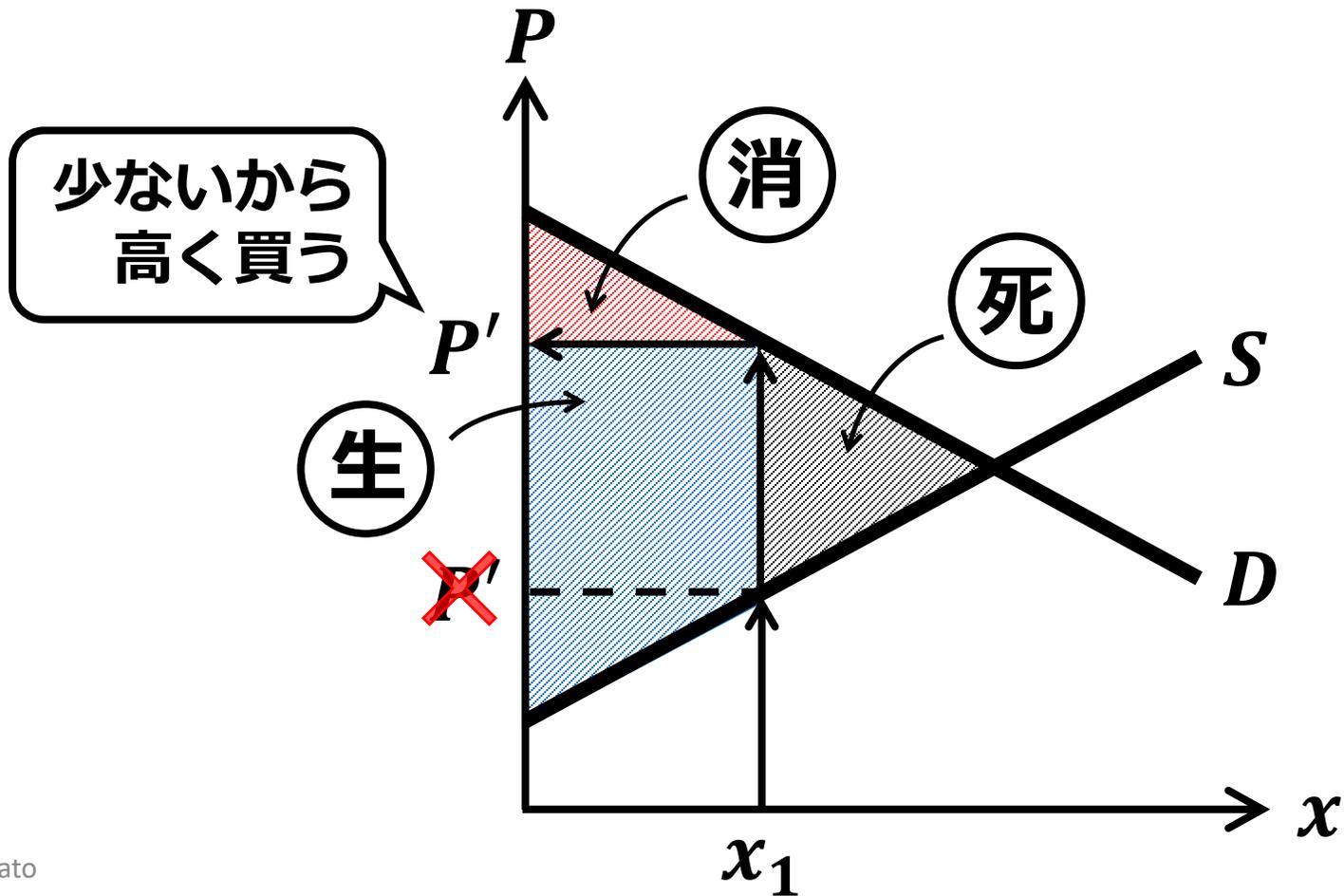


(2) 高価格 P_2 に規制



② 数量規制

少量 x_1 に規制



ポイント

規制は死荷重を発生させる

⇒ 小さな政府がよい

例題

$D. x = -2P + 10$: 需要関数
のとき、 $P = 4$ における
消費者余剰 CS を求めよ。

Consumer Surplus

解答

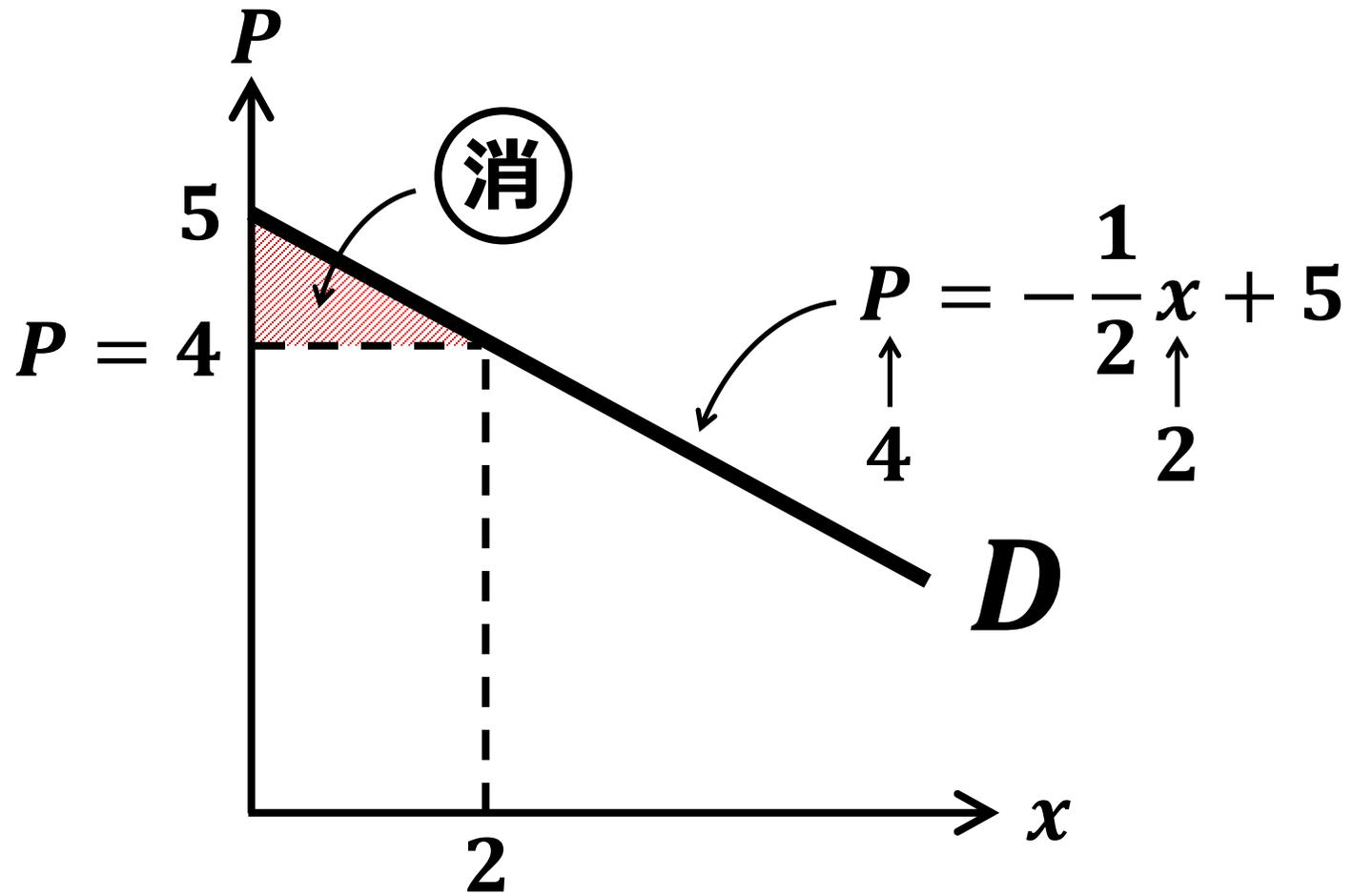
$$x = -2P + 10$$

より、

$$2P = -x + 10$$

$$P = -\frac{1}{2}x + \underbrace{5}_{\text{傾き}} : \text{逆需要関数}$$

切片



$$CS = 2 \times (5 - 4) \div 2$$
$$= \underline{\underline{1}}$$

次回(第2講)は…

- **微分が登場します**
(数学で不安な人は第0講へ)
- **需要の価格弾力性**
(需要曲線についてのお話)
- **小テストと問題集で復習を!**